

平成28年度行政評価制度について

概要 目的：町が実施している事業の見直しを行い、より効率的で効果的な事業運営をすることにより、行政サービスの向上を図っていかうとするもの

対象：本年度(平成28年度)は昨年度(平成27年度)に実施した事業の中から、評価対象を選定

評価方法：【1次評価】事業の必要性・有効性・妥当性・効率性の視点から担当課が評価
【2次評価】「行政改革推進会議」において事業ヒアリングを行い、継続・充実・改善・縮小・統合・廃止の区分の中から評価決定

評価反映：各課は2次評価に基づき、平成29年度以降(*)の事業実施の検討を進めていく(*必ずしも平成29年度当初予算に反映するものではない)

評価結果 行政改革推進会議において、13課13事業に対するヒアリングの実施及び2次評価を決定。内容は以下のとおり。

課名	事業名	事業の目的、現状	評価	理由
1 総務課	新たな財源(有料広告) 【広報よりい、町公式ホームページ】	自主財源確保の有効的な手段の一つ。近年は掲載申込が少なく、収入額は減少傾向となっている。	改善	有料広告の掲載増加を図るための改善(料金改定の検討、掲載企業等の開拓、基礎情報調査など)が必要である。総務課が中心となり、有料広告の取り組みを行っている都市計画課、上下水道課と連携して進めること。
2 財務課	土地開発公社	地価の上昇が見込めた設立時とは状況が変化しており、土地の先行取得を必要とする状況ではなくなっている。	廃止	設立当初の社会状況と比較し、現在は土地開発公社を存続させる状況にないと考えられるため、解散に向けた手続きを進めること。
3 自治防災課	消防団運営事業・消防団施設維持管理事業	消防団は町民の安心と安全を守るという重要な役割を担っており、その活動に必要な装備等を充実させていく必要がある。しかし、装備の充実を図るためには多くの予算が伴うため、計画的な予算措置及び整備が必要となる。	継続	引き続き、消防団に対する備品等の整備を実施していくこと。ただし、国や県等の制度で活用できるものは活用し、財源を確保していく必要がある。
4 町民課	健康世帯表彰	健康の保持増進に努め、一定の期間、医療機関無受診を達成した国保世帯を表彰する。	改善	事業の目的である「町民の健康意識の高揚と寄居町国民健康保険の効率的な運営」をさらに促進させるよう、疾病の早期発見、早期治療の観点も含め、検討が必要である。
5 子育て支援課	子育て支援交付金	出生児の保護者に対し、チャイルドシート購入等への活用として、一律1万円を交付。	充実	町の子育て支援及び少子化対策として真に有効な取り組みとなるよう制度の見直しを行い、充実を図ること。ただし、安易なばら撒き施策とならないよう、経済的負担がネックとなっている「第3子の壁」の解消など、施策の目的を明確にすること。
6 健康福祉課	はつらつ短期大学	高齢者の「生きがいづくり」「健康づくり」「仲間づくり」「社会参加」を目的として、音楽教室、絵手紙教室、視察研修など年6回講座を開催。	統合	事業内容としては、高齢者の生涯学習の面が強いため、類似事業を実施している中央公民館講座へ統合する。統合の際は生涯学習課と調整し、利用者の利便性低下や混乱を招かないよう十分配慮すること。
7 生活環境 エコタウン課	緑のカーテン補助金	地球温暖化対策を推進するため、壁面緑化に取り組む個人及び法人に対し補助金を交付。	改善	制度開始から5年が経過したこと、また、制度利用が一定の町民に偏ってきていることから、多くの町民に広がりがあるよう制度の見直し、改善を検討すること。
8 農林課	観光農業推進協議会補助金	観光農業の振興、観光資源の保持培養及び生産力の増進を図ることを目的に、果樹管理講習会、果樹苗木注文取りまとめ、視察研修、みかん園ダンボール箱補助等を実施。	改善	観光農業の発展に向け、後継者育成を含めた戦略的な取り組みの実施について、補助金だけでなく農林行政としてバックアップし、促進していくこと。
9 商工観光企 業誘致課	商店会運営費補助金	商店街の振興発展のため、「寄居ニコニコ商店会協同組合」と「ふるさと寄居商店会」の2商店会に補助している。	継続	商店街振興発展のための事業として継続する。ただし、補助対象商店会の今後の活動状況等を見ながら、必要な見直しを行っていくこと。
10 建設課	アダプト制度	道路等の公共の場所において、除草やごみの収集、草花の植栽等を行うボランティア団体を募集し、活動に必要な消耗品の支給を行う。高齢化などの理由により、今後減少が予想される。	改善	協働のまちづくりの観点からも、多くの町民や団体がこの制度に参加するための誘導策を講じる必要がある。例えば、団体活動を町広報紙やホームページ等へ掲載することや表彰の実施など、「やりがい」づくりの方策を検討すること。
11 都市計画課	新たな財源(有料広告) 【寄居駅自由通路】	自主財源確保の有効的な手段の一つ。年間を通し固定した広告主はいるが、新規申込者が少なく、収入額も減少傾向となっている。	改善	有料広告の掲載増加を図るための改善(料金改定の検討、掲載企業等の開拓、基礎情報調査など)が必要である。総務課と連携して進めること。
12 上下水道課	新たな財源(有料広告) 【水道検針票裏面】	新たな自主財源の確保のため、水道メーター検針時に発行する水道検針票裏面に有料で広告を掲載する。平成24年度以降実績なし。	改善	有料広告の掲載増加を図るための改善(料金改定の検討、掲載企業等の開拓、基礎情報調査など)が必要である。総務課と連携して進めること。
13 生涯学習課	中央公民館講座(氏邦大学)	60歳以上を対象とした1回完結型の教養娯楽講座。郷土の生活文化や風土、身近な生活の問題、時代に即したテーマなどを年間10回開催し、多彩な講師を招いて学んでいる。	充実	類似事業である「はつらつ短期大学」を統合し、事業の充実を図ること。また、町長公約である「とことん学び塾」として事業内容を整理すること。

区分	継続	充実	改善	統合	廃止
事業数	2	2	7	1	1